

平成19年7月31日

報道機関各位

岩手県盛岡市中央通一丁目6番7号
株式会社 北日本銀行
経営企画部

原油デリバティブ取引の媒介取扱について

- 東北地域金融機関初めての取扱い リスクヘッジ商品 -

株式会社北日本銀行(頭取 佐藤 安紀)は、二葉運送株式会社(本社 岩手県紫波郡矢巾町、社長 細川 忠彦)と三井物産株式会社(社長 槍田 松瑩)との間で、原油デリバティブ取引を媒介いたしました。

地域金融機関による原油デリバティブ取引媒介は東北地方で本件が初めてとなります。

二葉運送株式会社では、現在激しい値動きをしている原油相場に対して、調達燃料コストのリスクヘッジを検討しており、平成19年8月1日より原油スワップ取引()を導入することを決定いたしました。

この取引は、仕入コストの変動幅を抑制する効果があり、経営の安定化を目的とするものです。

原油スワップ取引とは(固定価格を支払い変動価格を受け取るケース)

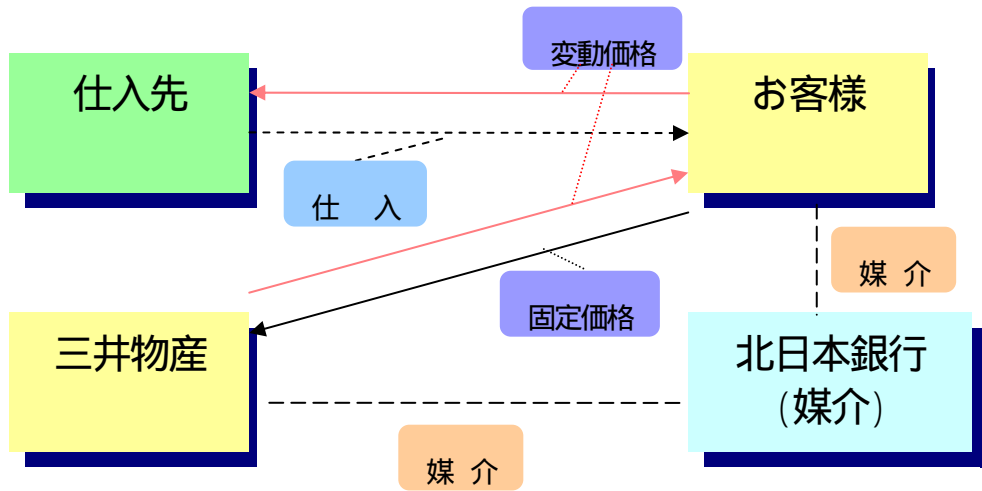
契約で予め価格指標の固定価格を定めて、市場価格がその固定価格を上回った場合は、お客様が上回った金額に相当する決済金を受け取り、逆に下回った場合は三井物産株式会社に決済金を支払う取引(原油価格上昇による費用の増加リスクを回避する)。

(取引概要図 次ページ掲載)

当行では、三井物産株式会社と商品デリバティブ取引に関する業務提携をしており、原油・穀物等を始めとした商品相場を有する各商品の価格変動によって、お客さまが被る収益の減少や費用の増加などのリスクを回避するための手段として商品デリバティブを提供しております。

当行は、今後も商品・サービスの充実に取り組み、地域のお客様のさまざまなニーズにお応えできる銀行を目指してまいります。

スワップ取引スキーム図



以上

【本件についてのご照会先】

北日本銀行 営業統括部 森、村上
TEL: 019-653-1111 (代表)